

総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会
(第26期・第11回) 議事要旨

1. 日 時 令和8年3月10日(火) 15:30～17:00
2. 会 場 ハイブリッド開催
(日本学術会議 5-A 会議室(1) 及びオンライン)
3. 出席者 高田保之委員長(現)、岩城智香子副委員長(現)、齋藤公児幹事(現)、
大野恵美委員(現)、大久保泰邦委員(現)、伊藤公孝委員(オ)、兒
玉了祐委員(現)、下田吉之委員(オ)、鈴置保雄委員(現)、武田秀
太郎委員(オ)、藤田修委員(オ)、宮崎久美子委員(オ)、藤岡恵子
委員(現)
計13名 (現)→現地参加 (オ)→オンライン参加

欠席 朝倉薫委員

4. 配布資料
資料 26-11-1 第26期・第9回分科会議事要旨
資料 26-11-2 第26期・第10回分科会議事要旨
資料 26-11-3 カーボンニュートラルに向けた熱利用の可能性と課題(案)
資料 26-11-4 共同シンポジウム案
資料 26-11-5 見解案 活動的縁辺域における持続可能な洋上風力発電開発に
向けた海底地質リスク評価予測と対策に関するガイドライン
資料 26-11-6 見解案 カーボンニュートラルに向けた熱エネルギー利用の可
能性と課題

議 事

(1) 前回議事要旨確認

高田委員長から資料26-11-1及び資料26-11-2資料に第26期第9回及び第10回
の分科会議事要旨の説明があり、承認された。

(2) 小委員会活動報告

- ・「持続可能な開発目標達成のための洋上風力発電開発検討小委員会」から、見解
案について総合工学委員会での査読状況及び対応状況が報告された。査読コメ

ントを踏まえた修正を進めており、今後公表に向けた手続きを進める予定である。

- ・「カーボンニュートラル実現に向けた熱エネルギー有効利用小委員会」から、見解案に対する査読結果及び修正状況について報告があった。委員から構成や内容に関する意見が出され、今後、査読コメントを踏まえた修正版を提出する予定である。
- ・「フュージョンエネルギー小委員会」から、国内外におけるフュージョンエネルギー開発の動向について報告があった。今期は活動の基盤を固める段階であることを踏まえ、今後の活動方針について意見交換を行った。

(3) 公開シンポジウム企画

(4) その他

27期の分科会に関して、8－9月中に議論をする場を設けたらどうかとの意見が高田委員長からあった。

(以上)